

「市長への手紙」HP掲載データ（平成29年11月分）

見出し	2911-10 4～6歳の歯科検診について
ご意見	<p>先日、1～3歳までは公的な歯科健診があるが「4～6歳まではない」ということを知り大変驚いた。小学校では歯科衛生に多くのエネルギーを費やし、徐々に成果を上げている。就学前のこの時期は幼児の食生活も大人に近づく一方、むし歯の管理能力の伴わない時期である。4～6歳までの公的な歯科健診を行うための支援をお願いしたい。</p>
回答	<p>久慈市では、離乳食期より「歯と口腔の健康づくり」のための切れ目のない保健事業を目指しており、月齢、年齢に応じた保健指導に取り組んでいるところです。</p> <p>乳歯は生後6か月頃より生え始め、2歳で約20本が生えそろいます。出てきたばかりの歯は虫歯になりやすい状態ですが、表面からカルシウムやリン等が吸着し、2年くらいかけて丈夫な歯が形成されるといわれ、フッ素の歯面塗布も歯質の強化に有効とされています。久慈市では一番効果的と思われる1歳6か月～3歳までの間に歯科健診とフッ化物の歯面塗布を3回実施しております。その後も繰り返し塗布すればより効果的と思われませんが、乳幼児の虫歯予防の基本は食生活と歯磨きと考えております。3歳半の歯科健診が市で実施する歯科健診の最後になりますが、この時は併せて歯科衛生士による保健指導（食事と歯磨き、フッ化物入りの歯磨き粉の使用や継続してのフッ化物の歯面塗布の推奨など）をしています。県内で3歳までに3回以上の歯科健診・フッ化物塗布を行っているのは13市中7市となっており、逆に全く実施されていない市もあります。久慈市では歯科保健事業には力を入れているところでありますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、4歳を過ぎるとほとんどの子供さんは保育園に入園しており、久慈市歯科医師会によると市内のほとんどの保育園で歯科健診が実施されていると伺っております。学校保健研究大会でも報告させていただきましたが、この時期には、保育園と連携し虫歯予防に努めているところであります。</p>
担当課	保健推進課 ☎61-3315